

超音波防鼠器

ソニックバリアシリーズ

ソニックバリア・ネオ : SB-N

ソニックバリア・ベータ : SB-β

取扱説明書

2020年11月 第1版



本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ず本書をお読みください。
本書は、お読みになった後いつでも使用できるように、必ず所定の場所に保管してください。

IKARI

イカリ消毒株式会社

文書管理番号
B-SB01-0111

はじめに

このたびは、ソニックバリアシリーズ（以下「本製品」と記載）のご契約をいただき、ありがとうございます。

本製品をお使いいただく際には、この取扱説明書（以下「本書」と記載）をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐに取り出せる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

登録商標について

ソニックバリアは、イカリ消毒株式会社（以下「当社」と記載）の登録商標です。

著作権

本書の著作権は、当社またはその許諾者が有します。また、お客様は、当該情報を当社の承諾なしに第三者に開示できません。

当社から事前に許可を受けることなく、本書の全部または一部を使用および複製することはできません。また、本書の全部または一部を他の言語に翻訳、書き換えを行うことも禁止されています。

本書の対象読者について

本書は、本製品をご使用になるすべての方を対象に記載しています。ただし、通信試験や電気工事など専門技術を要する作業についての内容は記載しておりませんので、それらの専門技術情報は、しかるべき資格を有する方が、当社から適切な情報を入手の上行ってください。

お願い

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

この製品は、日本国内専用です。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

本書の表記方法について

機種別の説明

本書は、ソニックバリア・ネオ、ソニックバリア・ベータの2機種について記載しています。共通の内容、機種ごとに違いのある内容については、以下のように分類しています。

- ・ 2 機種共通の内容：本製品
- ・ 機種ごとの内容：それぞれの機種名

シグナルワードの意味

本書では、記載事項を守らないと人体への危険や物的損傷を招くおそれのある事項に関して、以下のような「警告」や「注意」といったシグナルワードを付けて記載しています。これらのシグナルワードが付いた記載事項は、事前によく読み理解し記載内容を遵守してください。

 警告	「警告」項目は、本製品の運用中に、作業者が死亡または重傷を負う可能性のある場合について記述しています。
 注意	「注意」項目は、本製品の運用中に、作業者が軽傷または中等傷を負う可能性のある場合について記述しています。
注記	「注記」項目は、作業者が負傷するおそれはないが、本製品、設備、機器などに損害や故障を引き起こすことが予想される場合について記述しています。

「重傷」、「中等傷」、「軽傷」の定義

「重傷」	失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が出るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。
「中等傷」	全治1か月未満の入院を必要とし、軽度の後遺症が出るもの。
「軽傷」	治療に入院や長期の通院が必要ないもの。

絵記号の意味



人体に影響のあるリスクを示す記号です。この記号とともに具体的な警告内容が書かれています。



禁止行為を示す記号です。この記号とともに具体的な禁止内容が書かれています。



実行しなければならない行為を示す記号です。この記号とともに具体的な指示内容が書かれています。



「メモ」項目は、運用上、特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。

使用期間、供給期限について

設計上の標準使用期間について

 警告	 本製品の「設計上の標準使用期間」は、出荷後、製品本体が4年、スピーカーが2年です。「設計上の標準使用期間」を超えて使用すると、経年劣化による発火や漏電などの事故が発生するおそれがあります。必ず当社による定期点検、オーバーホールを受けるようにしてください。
---	--

この「設計上の標準使用期間」は、保証値ではありません。お客様による適切な維持・管理とお手入れを行った場合の標準的な想定期間です。また、ご使用条件（環境など）により記載数値を満足しないことがあります。

「設計上の標準使用期間」を超えた場合は、お手数ですが当社までご連絡ください。

本書の内容は、本製品が「設計上の標準使用期間」を迎えるまで有効とします。

保守部品の供給期限

保守部品の供給期限は、原則として、本製品の製造中止から6年間を目安としております。

ただし、使用部品のうち汎用の電子部品などにつきましては、メーカーの都合により、短いサイクルで製造が終了したり、仕様が変更されたりすることがあります。

当社では、汎用電子部品の製造終了時には、必要な数量を予測して一定数量を確保するよう努力しておりますが、場合によっては、本製品の製造中止後、6年を経過する前に、保守部品の一部の供給を終了させていただくことがございます。

また、市販品の機器および部品につきましては、各メーカー規定の供給期限となります。

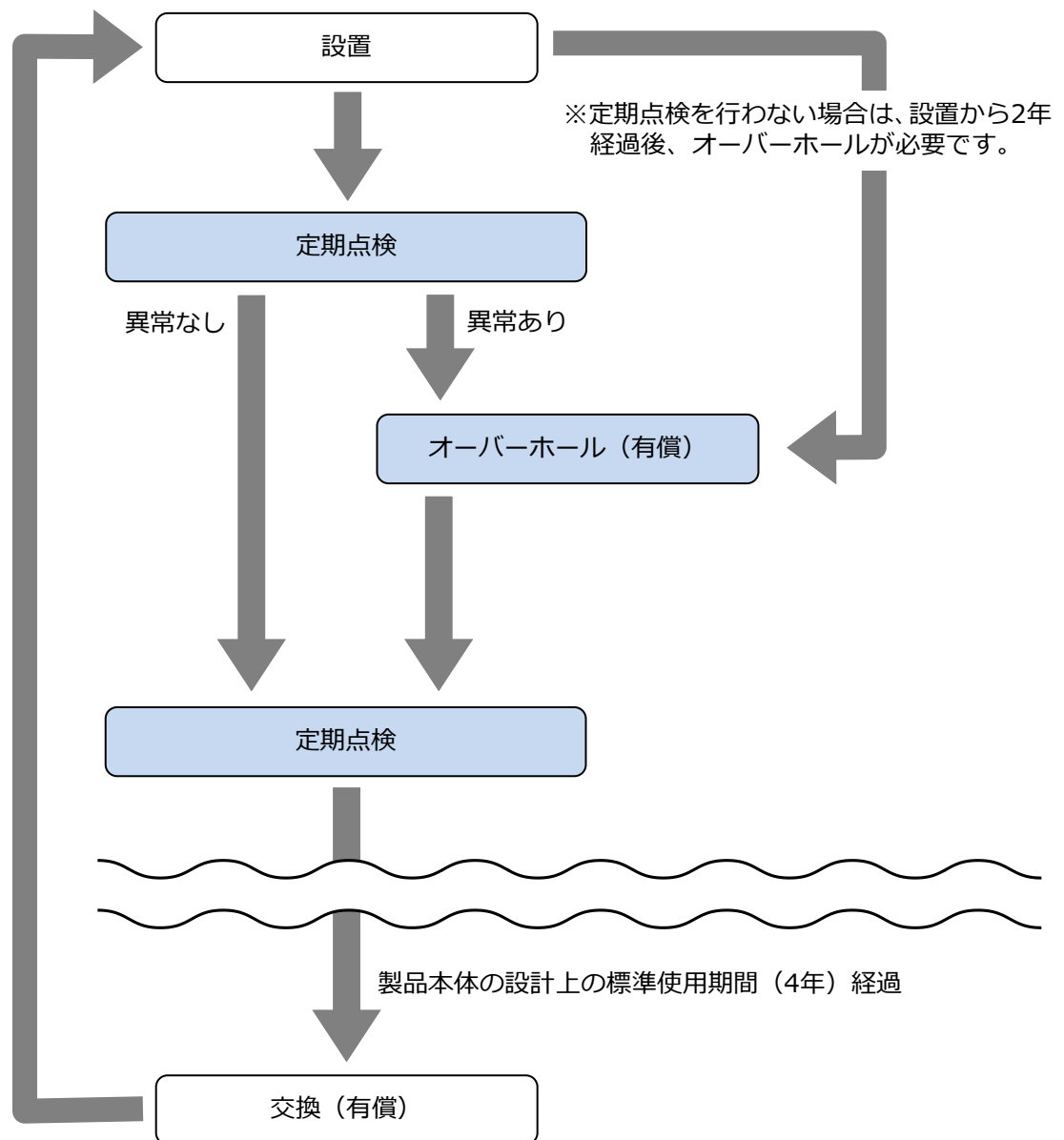
保証期間満了後の修理などについてご不明な場合は、当社にお問い合わせください。

定期点検・オーバーホールについて

本製品は、製品本来の性能を維持するために、定期点検（1年ごと推奨）、オーバーホールが必要です。

定期点検、オーバーホールについては、当社にご連絡ください。

運用フロー



もくじ

はじめに	2
登録商標について	2
著作権	2
本書の対象読者について	2
お願い	2
本書の表記方法について	3
機種別の説明	3
シグナルワードの意味	3
絵記号の意味	3
使用期間、供給期限について	4
設計上の標準使用期間について	4
保守部品の供給期限	4
定期点検・オーバーホールについて	5
1 安全にお使いいただくために	8
1.1 運用上の注意	8
1.2 可聴音・超音波に関する注意	9
1.2.1 ソニックバリア・ネオ	9
1.2.1 ソニックバリア・ベータ	9
1.3 製品銘板	10
2 製品概要	11
2.1 本製品の機能	11
2.2 超音波防鼠のしくみ	11
2.3 超音波の距離と範囲について	12
2.4 仕様	13
2.4.1 ソニックバリア・ネオ	13
2.4.2 ソニックバリア・ベータ	14
2.5 各部の名称とはたらき	15
2.5.1 ソニックバリア・ネオ	15
2.5.2 ソニックバリア・ベータ	16
3 設置	17
3.1 設置の前に	17
3.1.1 設置の注意事項	17
3.1.2 開梱と梱包品の確認	18

3.2	設置の準備	19
3.2.1	設置場所の確認	19
3.3	設置の方法	20
3.3.1	ソニックバリア・ネオ	20
3.3.2	ソニックバリア・ベータ	23
4	使用方法	25
4.1	使用開始	25
4.2	動作確認	26
4.3	周波数の調整（ソニックバリア・ネオのみ）	26
5	点検・保守	27
5.1	本体の清掃	27
6	こんなときは	28
7	製品の保管および廃棄	30
7.1	長期間使用しない場合の保管について	30
7.2	本製品の廃棄について	30

1 安全にお使いいただくために

本項には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上でお使いください。

1.1 運用上の注意



警告



- 本製品を本書に記載されている以外の用途では使用しないでください。製品の破損や故障ばかりでなく、けがや重大な事故が発生するおそれがあります。
- 指定された電源電圧以外では使用しないでください。製品の破損、発火事故の原因になります。
- 引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないでください。発火事故などの原因になります。
- 本製品の分解や改造はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様による分解、改造された製品は、保証の対象外となります。
- お客様による修理はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様により修理された製品は、保証の対象外となります。
- 本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 水分や湿気が多い場所では、ソニックバリア・ネオを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
このような場所や、屋外などご利用を希望する場合は、防滴仕様のソニックバリア・ベータをご使用ください。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源コードを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- 幼児の手の届くところで使用しないでください。感電やけが、やけどのおそれがあります。
- 本製品から煙が出た場合や、異臭や異音が出た場合は、すぐに電源コードを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。



- 本製品内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに電源コードを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。

 注意	・ 設置場所および設置方法は、必ず「3 設置」に記載している事項に従ってください。 ・ 本体を高所に設置する際は、必ず規定のネジなどを使用して固定し、確実に固定されているかどうか確認を行ってください。また、定期的に緩みなどがないか点検を行ってください。本体落下による事故やけがの原因になります。
注記	・ 汚れた場合は、中性洗剤をしみ込ませた清潔な布で軽く拭いてください。本製品は、防水構造ではありません。 ・ 温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露するおそれがあります。本製品は周辺温度 0℃～50℃、湿度 0%～80%（結露しない環境）で使用してください。

1.2 可聴音・超音波に関する注意

1.2.1 ソニックバリア・ネオ

 注意	・ 本製品は、可聴音・超音波を照射する製品です。 自動変調（17 kHz～21 kHz）、または20 kHz以下の手動変調の周波数のとき、可聴音（人が感じることのできる音）が出ます。 この可聴音は、本製品を設置していることを作業者にお知らせする役割を持っていますが、気分が悪くなる場合は、手動変調で20 kHz以上になるように周波数を調節すると、可聴音が緩和されます。 しかし、20 kHz以上の音波は人が感じることのできない音のため、知らず知らずのうちに気分を害してしまうおそれがありますので、十分注意してください。 ・ 本製品を人に向けたり、耳を近づけたり、直接耳を当てたりしないでください。気分を害するおそれがあります。気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止し、通気の良い場所で安静にしてください。 ・ 人が常時滞在する場所では使用しないでください。気分を害するおそれがあります。気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止し、通気の良い場所で安静にしてください。
---	--

1.2.1 ソニックバリア・ベータ

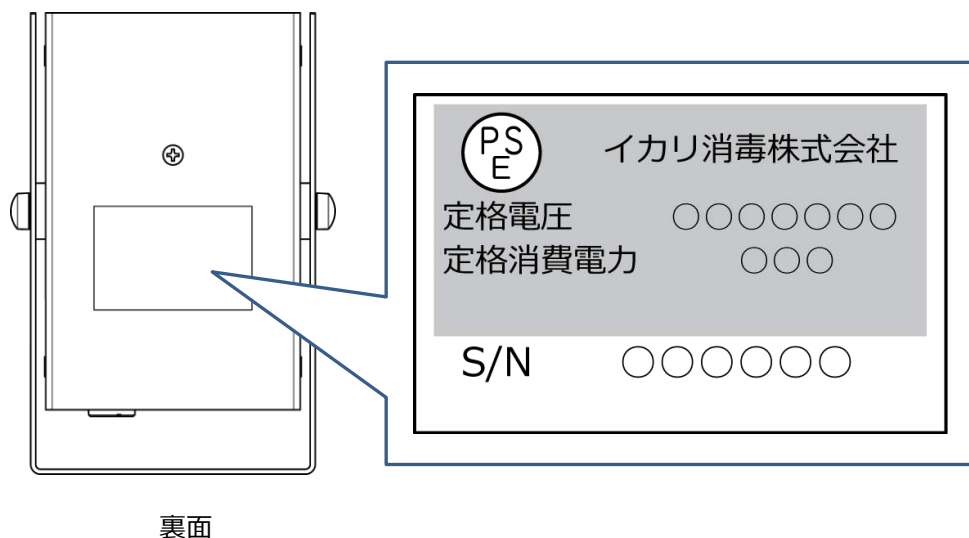
 注意	・ 本製品は、可聴音・超音波を照射する製品です。 自動変調（17 kHz～21 kHz）時、可聴音（人が感じることのできる音）が出ます。 可聴音は、本製品を設置していることを作業者にお知らせする役割を持っていますが、気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。 20 kHz以上の音波は人が感じることのできない音のため、知らず知らずのうちに気分を害してしまうおそれがありますので、十分注意してください。 ・ 本製品を人に向けたり、耳を近づけたり、直接耳を当てたりしないでください。気分を害するおそれがあります。気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止し、通気の良い場所で安静にしてください。 ・ 人が常時滞在する場所では使用しないでください。気分を害するおそれがあります。気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止し、通気の良い場所で安静にしてください。
---	---

1.3 製品銘板

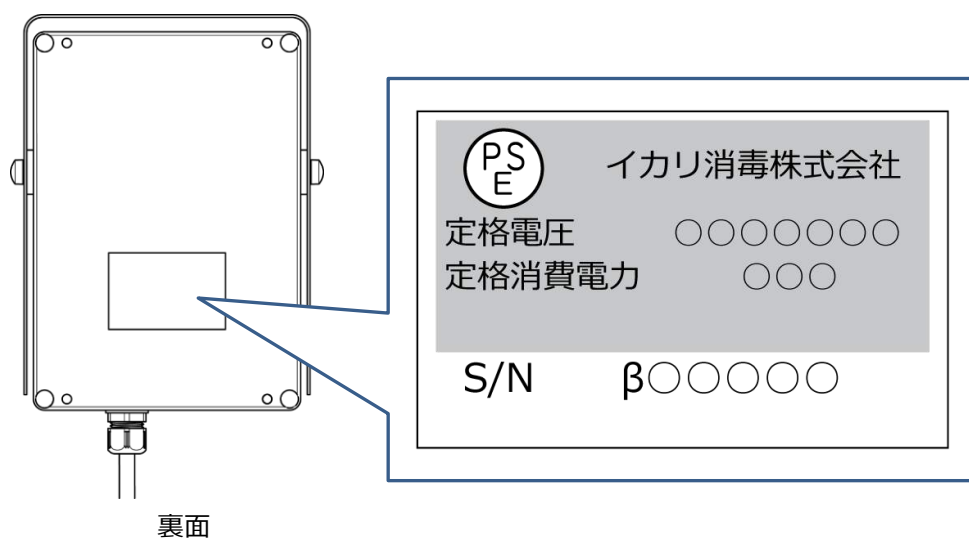
本製品には、以下のようにモデル名、定格、シリアルNo.などを記載した銘板が貼られています。

銘板が劣化したり剥がれたりしている場合は、当社にご連絡の上、新しいものと貼り替えてください。

ソニックバリア・ネオ



ソニックバリア・ベータ



2 製品概要

2.1 本製品の機能

本製品は、超音波を利用し、ネズミを忌避する装置です。

ネズミが嫌がる周波数の超音波を照射することによって、建物の開口部からの侵入や、特定エリアへの侵入を防ぐことができます。

メモ

- 本製品は超音波（20 kHz 以上の高い周波数を持つ弾性振動波）を照射します。
超音波は、産婦人科の検査などでも使用されるように、人体に対して安全であることが一般に認められています。
しかし、20 kHz 以上の音波は人が感じることのできない音のため、知らず知らずのうちに気分を害してしまうおそれがありますので、十分注意してください。
- 本製品は、ネズミを殺傷する製品ではありません。
ネズミの屋内への侵入、または食品などの咬害の防止を目的としています。

ソニックバリア・ネオは、超音波の周波数を自動／手動に切り替えることができ、複数台を連結することで、広い範囲を忌避することができます。

ソニックバリア・ベータは、防滴仕様（IP51）で設計されており、建物の軒下などに設置することで、ソニックバリア・ネオではカバーできない場所を忌避することができます。

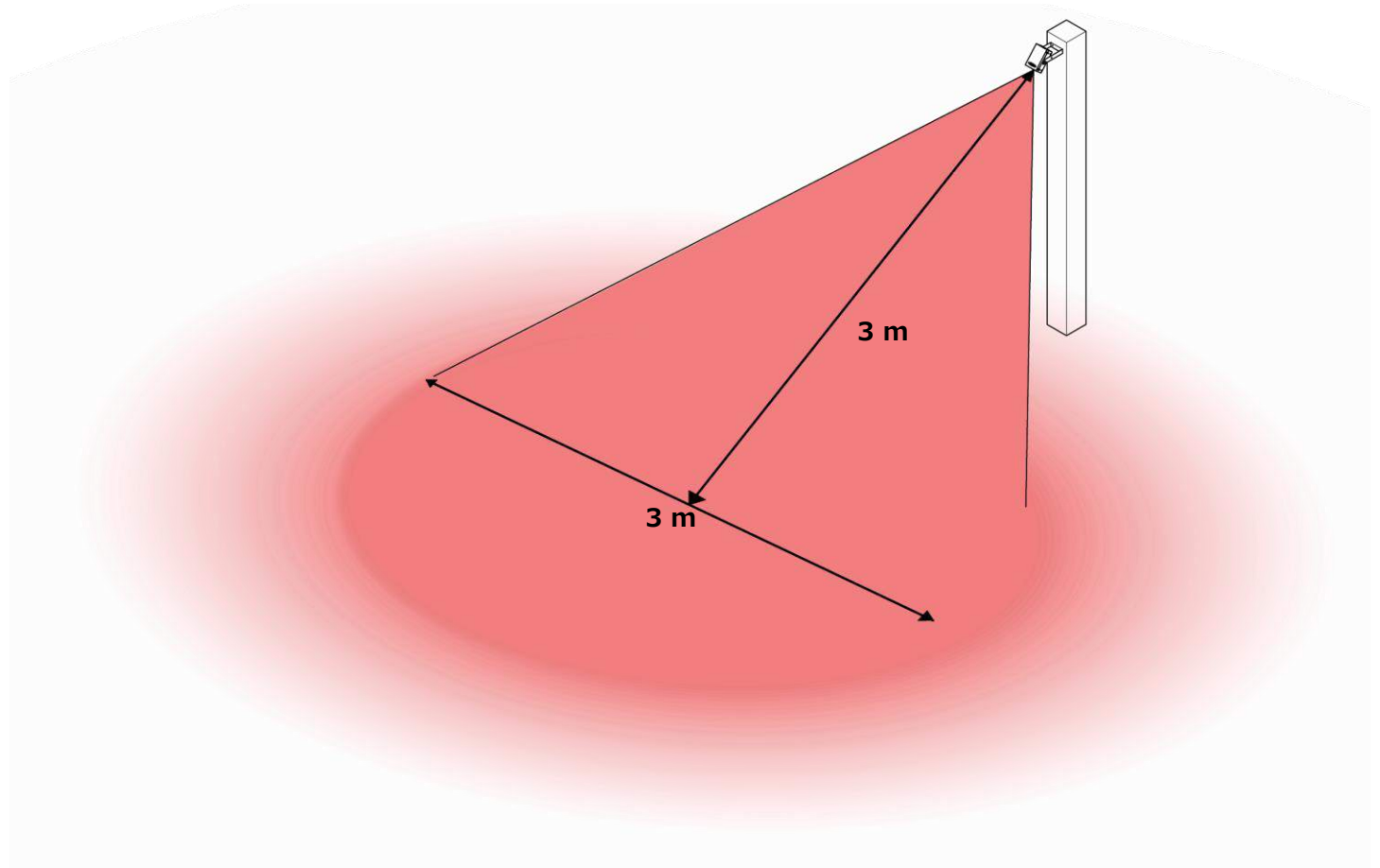
2.2 超音波防鼠のしくみ

ネズミ類は、人間には聞くことのできない超音波（周波数20 kHz以上）を発生させたり、聞くことのできる能力を持っており、この超音波を利用して、ある程度のコミュニケーションを行っていることが知られています。

ネズミ類の防除には、駆除を目的とした殺鼠剤や粘着剤、捕獲器のほかに、建物内への侵入防止や追い出し効果を目的とした、超音波防鼠器があります。

2.3 超音波の距離と範囲について

本製品の超音波の照射距離と範囲は、以下のイメージとなります。
設置位置の参考としてください。

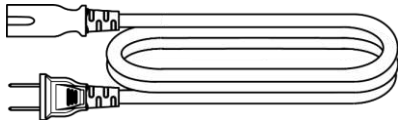


2.4 仕様

2.4.1 ソニックバリア・ネオ

項目	内容
名称	ソニックバリア・ネオ
型番	SB-N
寸法	(幅) 77 mm × (高さ) 50 mm × (奥行) 120 mm
質量	約510 g
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	4W
電源コード	1.8 m
周波数	手動変調 (15 kHz～25 kHz) 自動変調
標準有効範囲	3 m以内
機能	周波数切替 (自動/手動) 複数連結可能
使用温度/湿度	温度 : 0 °C～50 °C 湿度 : 0 %～80 % (ただし、結露しない環境であること)

付属品

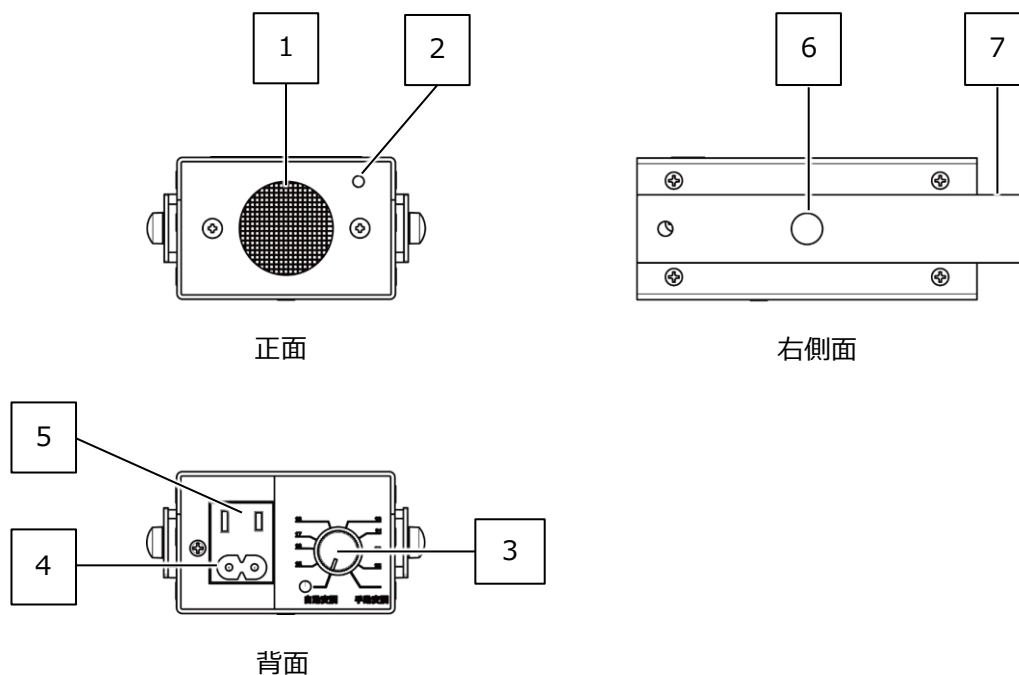
名称	外観	説明
電源コード		1本

2.4.2 ソニックバリア・ベータ

項目	内容
名称	ソニックバリア・ベータ
型番	SB-β
寸法	(幅) 120 mm × (高さ) 55 mm × (奥行) 170 mm
質量	約780 g
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	4W
電源コード	1.75 m (電源プラグは防滴仕様ではありません)
周波数	自動変調
標準有効範囲	3 m以内
機能	防滴仕様 (IP保護等級 : IP51)
使用温度/湿度	温度 : 0 °C~50 °C 湿度 : 0 %~80 % (ただし、結露しない環境であること)

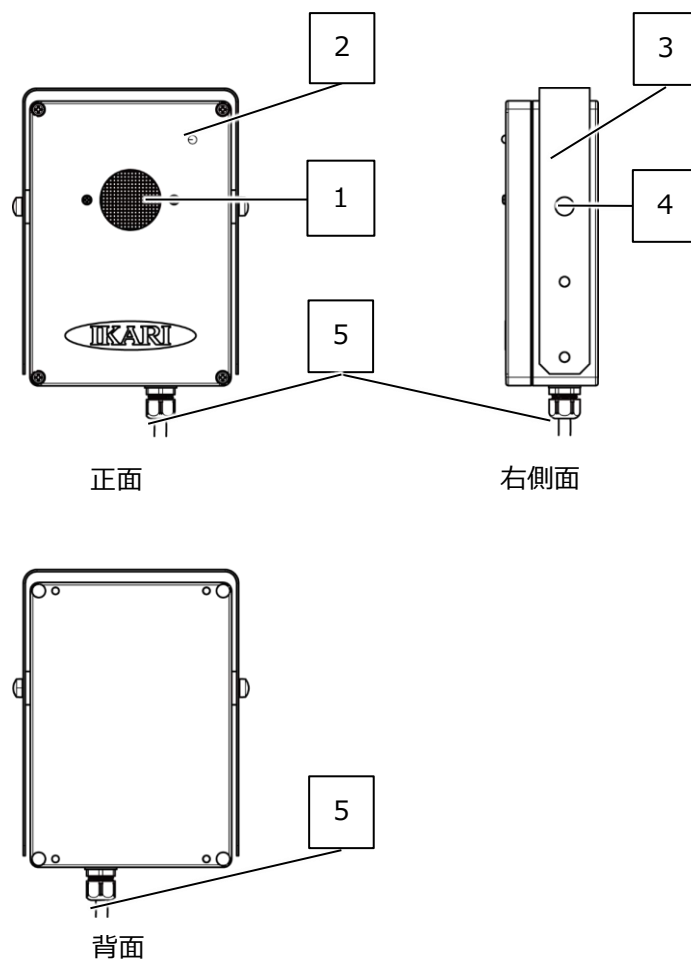
2.5 各部の名称とはたらき

2.5.1 ソニックバリア・ネオ



No.	名称	説明
1	スピーカー部	超音波を発生させるスピーカーです。
2	電源ランプ	電源がONになると、緑色に点灯します。
3	周波数調整ツマミ	製品の周波数の自動変調／手動変調の切り替え、手動変調の周波数の切り替えを行うツマミです。
4	電源コード差込ソケット	付属の電源コードを差し込むソケットです。
5	連結用コンセント	複数連結する際に、2台目以降の電源コードを接続するコンセントです。
6	本体取付ネジ	壁付金具を製品本体に取り付けるネジです。
7	壁付金具	製品を固定する専用金具です。

2.5.2 ソニックバリア・ベータ



No.	名称	説明
1	スピーカー部	超音波を発生させるスピーカーです。
2	電源ランプ	電源がONになると、緑色に点灯します。
3	壁付金具	製品を固定する専用金具です。
4	本体取付ネジ	壁付金具を製品本体に取り付けるネジです。
5	電源コード	約1.75 mの電源コードです。

3 設置

3.1 設置の前に

3.1.1 設置の注意事項

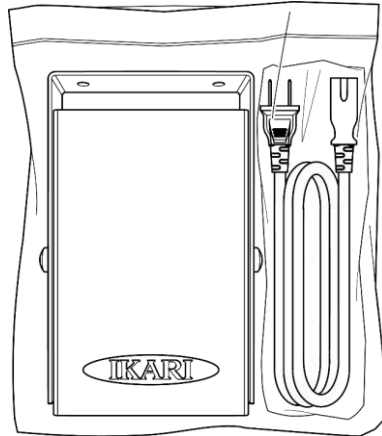
設置に際しては、以下の注意事項を遵守してください。

 警告	 次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因になったり、製品に悪影響をおよぼすことがあります。 ・ 直射日光が当たる場所 内部の温度が上がり、火災や故障、変形の原因になります。 ・ 漏水の危険がある場所 火災や感電、故障の原因になります。
 注意	 次の場所には設置しないでください。感電・火災の原因になったり、製品に悪影響をおよぼすことがあります。 ・ 振動が発生する場所 けが・故障・破壊・接触不良の原因になります。 ・ ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所での使用 けが・故障・破壊・接触不良の原因になります。 ・ 製品正面に障害物がある場所 超音波が障害物に遮られ、効果が得られない場合があります。 ・ 人が常時滞在する場所 本製品は、可聴音・超音波を照射する製品です。 人が常時滞在する場所に設置した場合、気分を害するおそれがあります。 気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止し、通気の良い場所で安静にしてください。
注記	 次の場所には設置しないでください。製品に悪影響をおよぼすことがあります。 ・ 強い磁界が発生する場所 故障の原因になります。 ・ 火気の周辺、熱気のこもる場所、火煙・ちり・ほこりの多い場所 故障や変形の原因になります。  ・ 温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露するおそれがあります。本製品は周辺温度 0℃～50℃、湿度 0%～80%（結露しない環境）で使用してください。

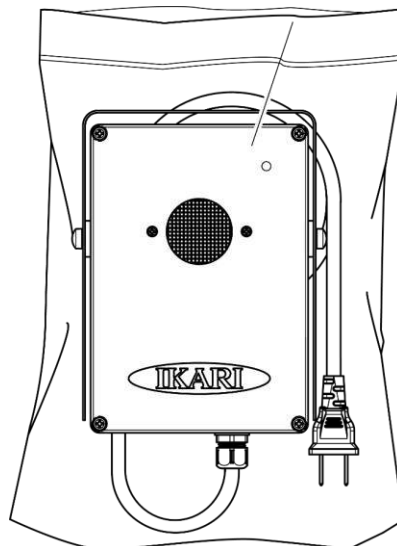
3.1.2 開梱と梱包品の確認

本製品は、段ボールにビニールおよび緩衝材で保護された状態で梱包して出荷します。

製品到着後は段ボールを開けて、製品本体とともに「2.4 仕様」内に記載されている付属品がすべて揃っていることを確認してください。



ソニックバリア・ネオ



ソニックバリア・ベータ

メモ

- ・イラストは個別包装時のイメージです。
- ・開梱後の段ボールや緩衝材は、再輸送のために保管しておくことを推奨しますが、廃棄する場合は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。

注記



- ・開梱時に本体の破損や付属品の欠品がある場合は、設置や使用をしないで当社までご連絡ください。
- ・修理や移送のため再梱包する場合は、納入時と同等に段ボールの中に緩衝材を入れて、輸送中に破損しないように注意してください。

3.2 設置の準備

本製品は、以下の要領で設置の準備をしてください。

3.2.1 設置場所の確認

- ・ 製品本体は、ネズミが通ると思われる場所に設置してください。
- ・ 以下の注意事項を確認の上、人が常時滞在しない場所に設置してください。

 警告	 ・ 壁付金具は、必ず付属の物を使用してください。付属品以外の金具を使用すると、本体の破損や落下によるけがを招くおそれがあります。 ・ 壁に取り付ける場合は、原則として専門工事に業者に依頼してください。 ・ 壁付金具は、必ず下地材または建物躯体にアンカーを打って取り付けてください。ボード類など仕上げ材料のみに取り付けると、落下のおそれがあります。
 注意	 ・ 本製品は、可聴音・超音波を照射する製品です。 可聴音は、本製品を設置していることを作業者にお知らせする役割を持っておりますが、気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。 ・ 20 kHz 以上の音波は人が感じることのできない音のため、知らず知らずのうちに気分を害してしまうおそれがありますので、十分注意してください。 ・ 人が常時滞在する場所に設置しないでください。気分を害するおそれがあります。気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止し、通気の良い場所で安静にしてください。

取り付けに先立ち、以下に記載している、取り付け場所の壁の仕上げ材料、下地の材料、建物躯体の状況を確認してください。

確認後は、壁付金具に緩みのないようにしっかり取り付けてください。

各下地に共通する確認事項

- ・ 下地に最適なビス、ボルト類を選定する（M4 以上のものを使用してください）
- ・ ビス、ボルト類の強度は施工の良否により異なるので正確に取り付ける
- ・ 下地材の材質、位置を測定器などにより確認する
- ・ 仕上げ材、下地材、躯体などが確認できないときは、必ず図面で確認する
- ・ ビス、ボルト類の設計強度は、表示強度の 5 分の 1 程度とする
- ・ 地震時にも落下しないよう、横揺れにも配慮する
- ・ スプリンクラー・報知器など、消防設備のそばには取り付けない

下地別取り付け確認事項

- ・ コンクリート躯体に直接取り付ける場合
直接ビス、ボルト類にて固定する
- ・ コンクリートにモルタル仕上げの場合

モルタル仕上げに浮きがないかを確認し、コンクリートに達するビス、ボルト類にて直接固定する

- コンクリートにプラスターボードが貼られている場合（GL工法）
コンクリートに達するビス、ボルト類にて直接固定する。または、取り付け用下地板をビス、ボルト類にて固定し、それに壁付金具を取り付ける
- 軽量鉄骨間仕切り下地
下地位置を確認し、ビス、ボルト類にて固定する
- ALC板下地（ALC：軽量発泡性コンクリート）
ALC板はもろいため、貫通型の座金付アンカー類で固定する。または、取り付け用下地板をビス、ボルト類にて固定し、それに壁付金具を取り付ける
- 特殊な材料に取り付ける場合は、材料メーカーと協議する

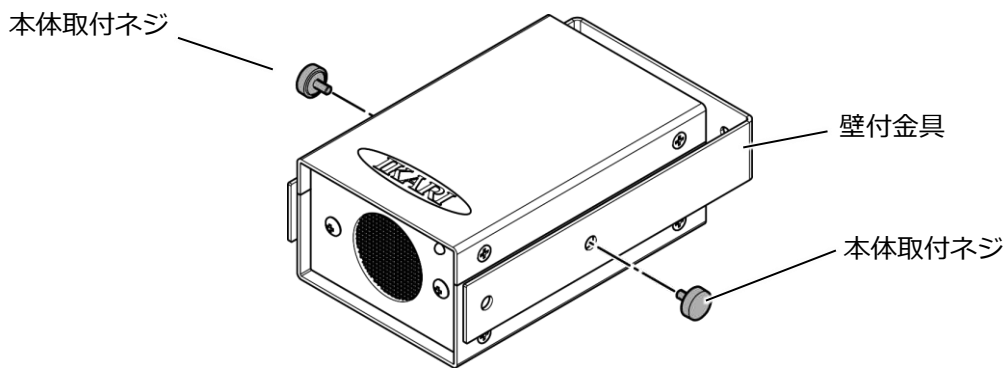
3.3 設置の方法

本製品は、以下の要領で設置してください。

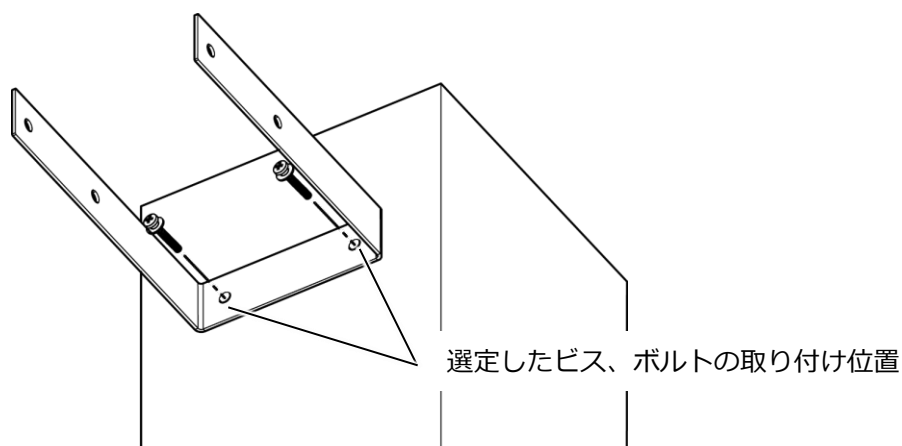
3.3.1 ソニックバリア・ネオ

1 ソニックバリア・ネオから、壁付金具を取り外します。

出荷時に、壁付金具は製品本体に取り付けてあります。本体取付ネジを外して、壁付金具を取り外してください。



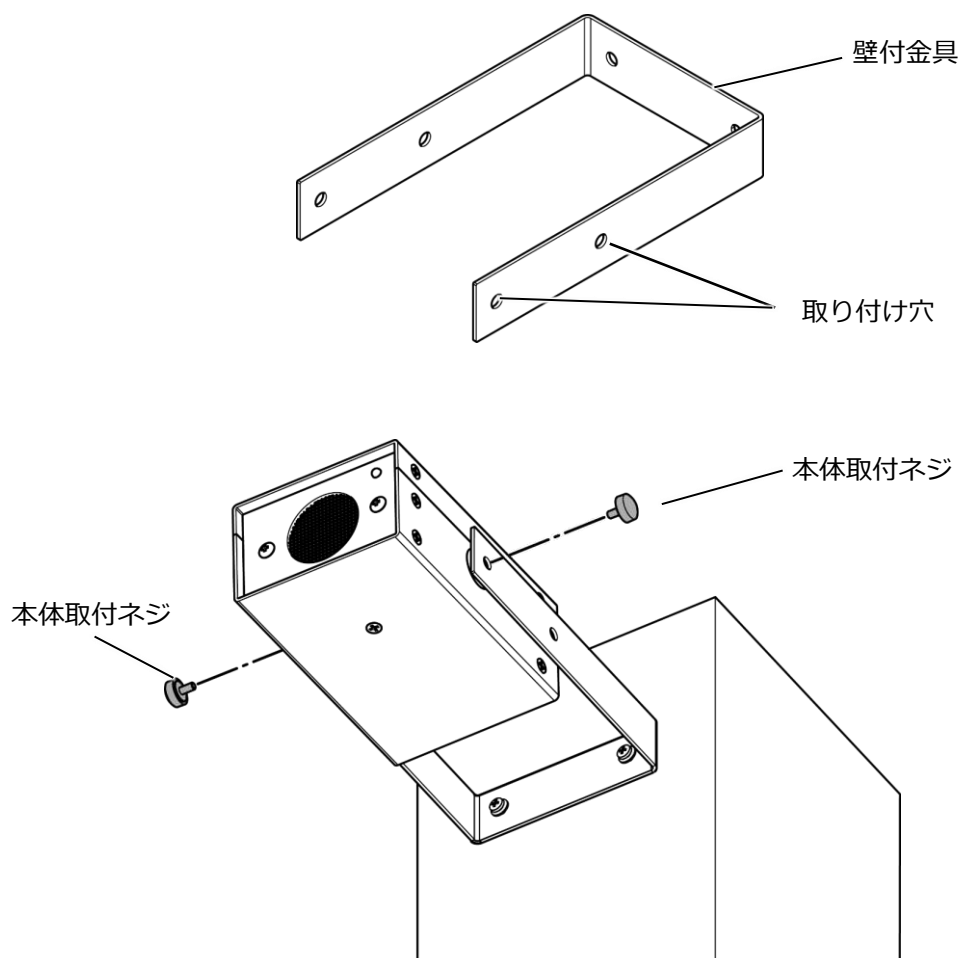
2 壁付金具を、選定したビス、ボルト2個で、設置位置に固定します。



メモ • 上図は設置位置の一例です。

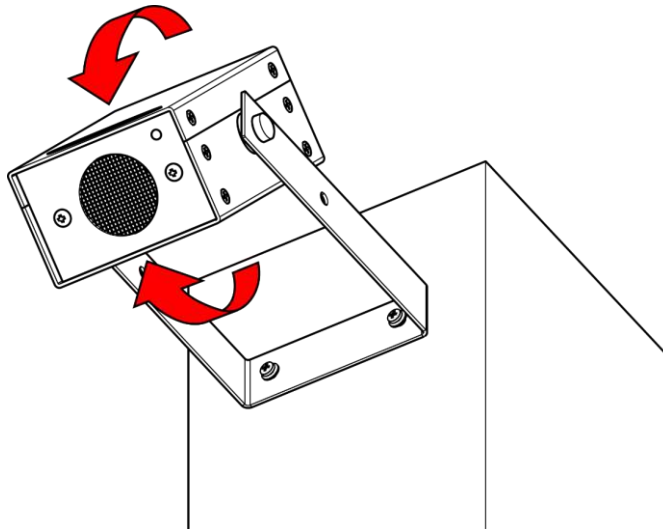
3 壁付金具にソニックバリア・ネオを取り付けます。

壁付金具の取り付け穴は2カ所ありますので、いずれかを選択し、付属の本体取付ネジで固定します。



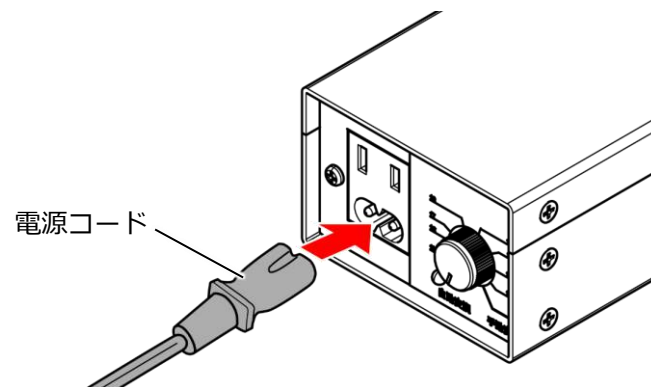
4 ソニックバリア・ネオの取り付け角度を調整します。

調整後は、本体取付ネジでしっかり固定されていることを再度確認してください。

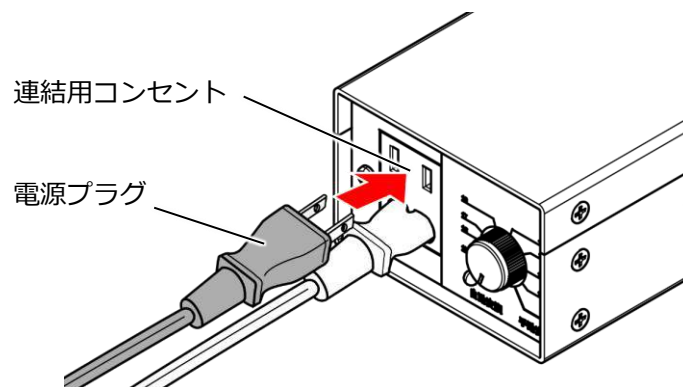


5 電源コードを電源コード差込ソケットに接続します。

電源コードは、奥までしっかり差し込んでください。



6 複数のソニックバリア・ネオを連結する場合は、本体背面の連結用コンセントに、2台目以降の電源プラグを接続します。



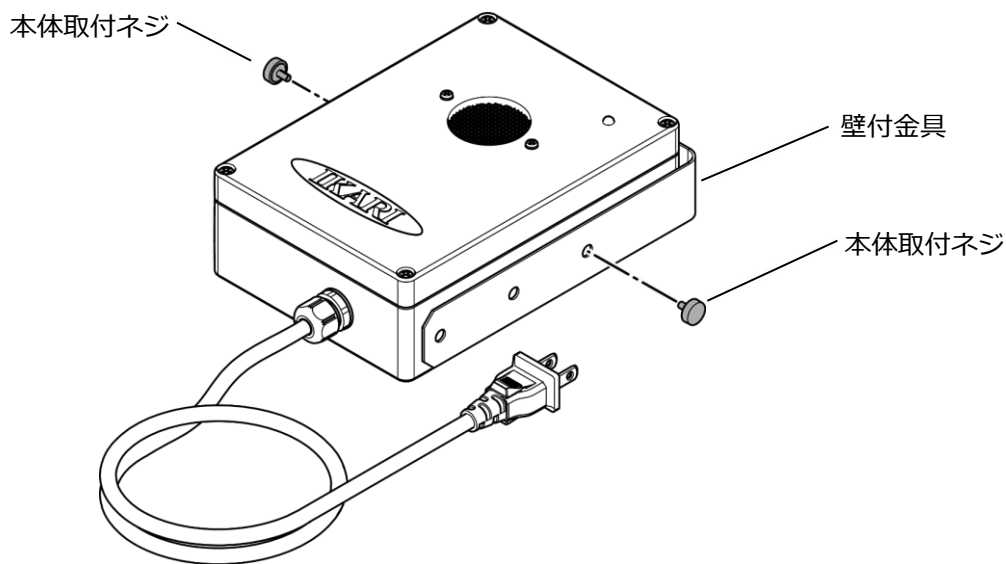
7 連結する複数のソニックバリア・ネオを同様に固定します。

メモ ・連結は、1つのコンセントにつき30台まで接続できます。

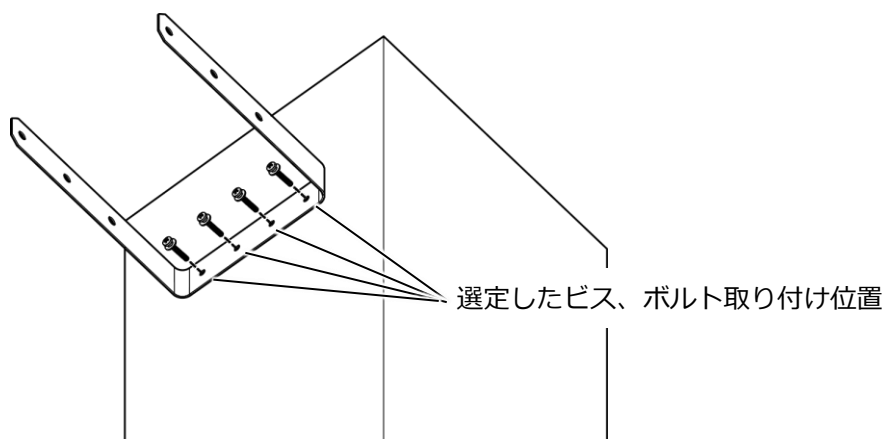
3.3.2 ソニックバリア・ベータ

1 ソニックバリア・ベータから、壁付金具を取り外します。

出荷時に、壁付金具は製品本体に取り付けてあります。本体取付ネジを外して、壁付金具を取り外してください。



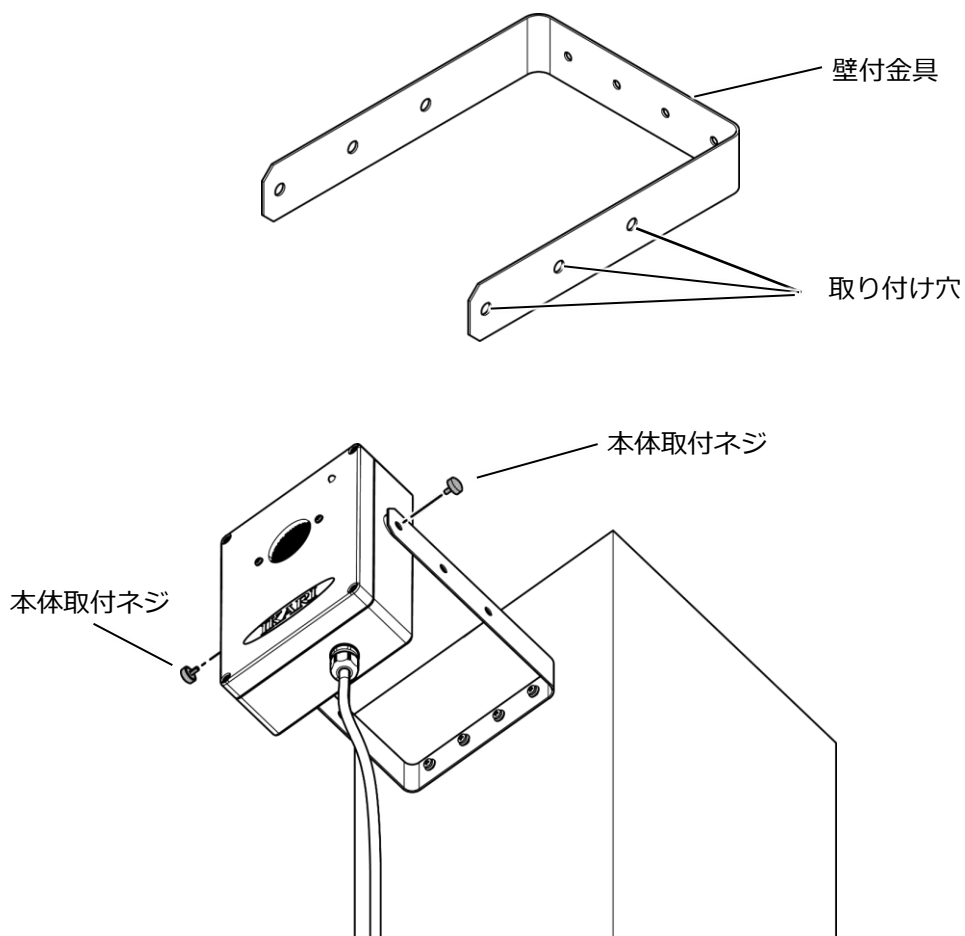
2 壁付金具を、選定したビス、ボルト4個で、設置位置に固定します。



メモ ・上図は設置位置の一例です。

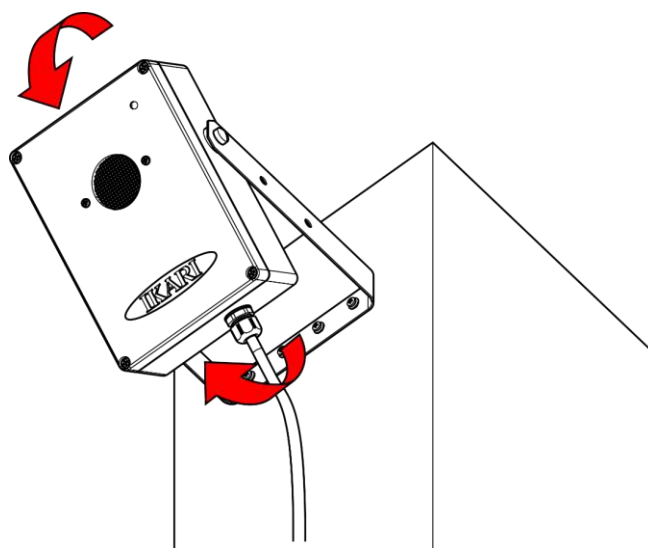
3 壁付金具にソニックバリア・ベータを取り付けます。

壁付金具の取り付け穴は3カ所ありますので、いずれかを選択し、付属の本体取付ネジで固定します。



4 ソニックバリア・ベータの取り付け角度を調整します。

調整後は、本体取付ネジでしっかり固定されていることを再度確認してください。



4 使用方法

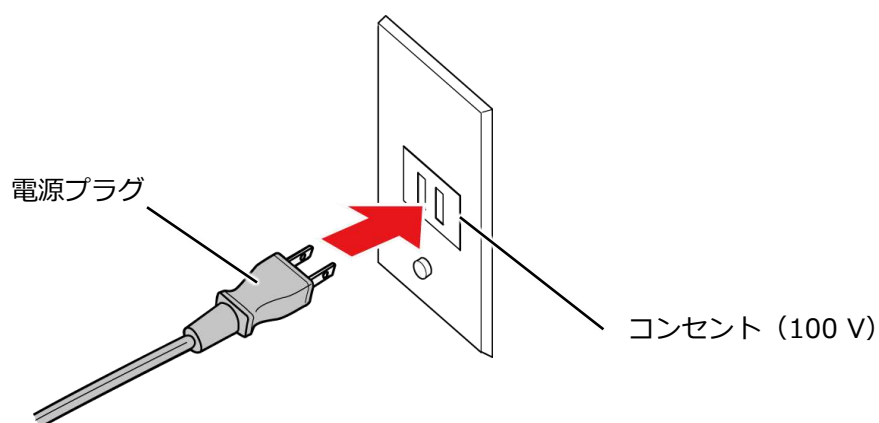
注記



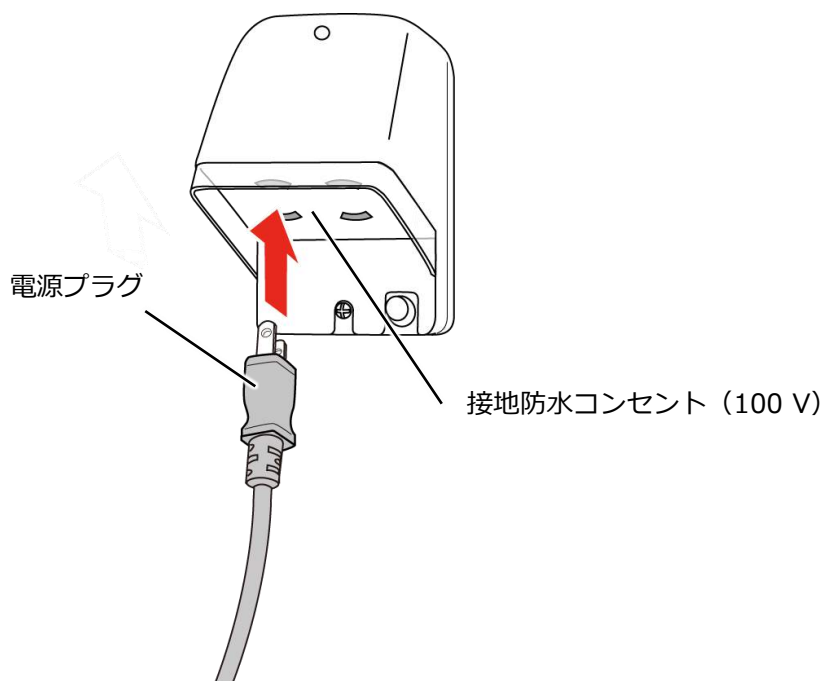
- ・本製品のスピーカー部の前に、障害物を置かないでください。忌避性能が十分に発揮されません。

4.1 使用開始

100 Vのコンセントに電源プラグを差し込みます。



ソニックバリア・ネオ (例)



ソニックバリア・ベータ (例)



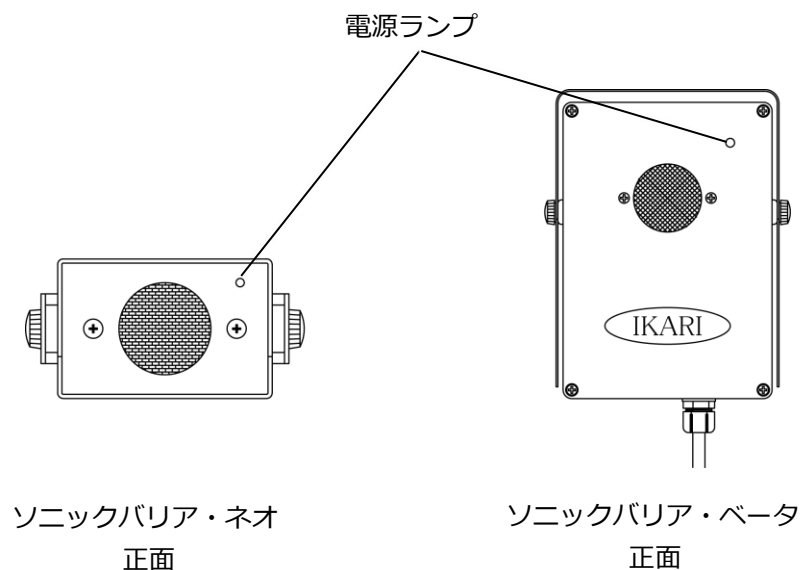
警告



- ・ソニックバリア・ベータは、製品本体は防滴仕様ですが、電源コードの電源プラグは防滴仕様ではありません。屋外に近い場所で使用する場合は、必要に応じて、接続するコンセント側で防滴保護を実施してください。

4.2 動作確認

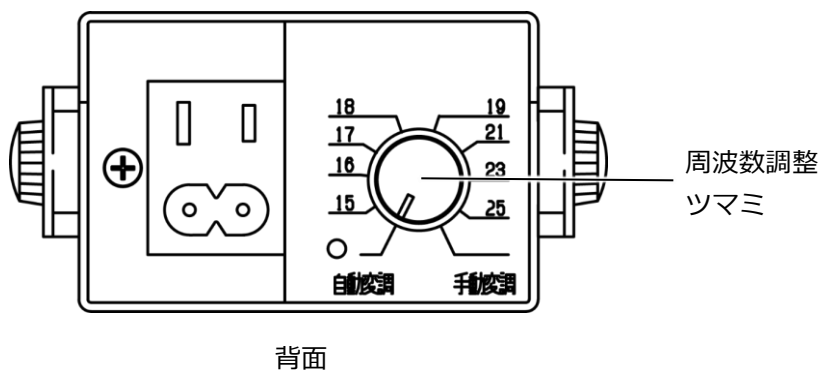
電源ランプ(緑)が点灯していることを確認します。



4.3 周波数の調整（ソニックバリア・ネオのみ）

製品背面の周波数調整ツマミを回して、超音波の周波数を調整します。

設置場所の状況に合わせて、適切に調整してください。



目盛りを「自動変調」に合わせると、周波数を自動で変調するモードになります。

それ以外の各数値に合わせると、数値の周波数で可聴音・超音波を発生します。

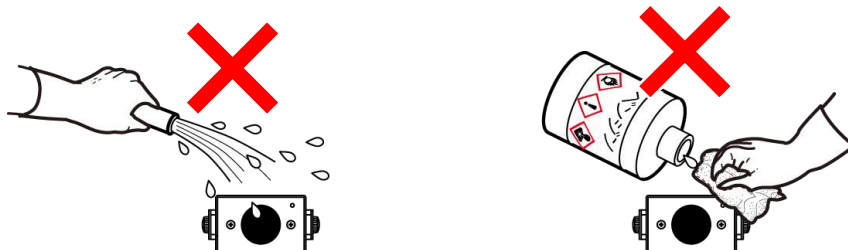
5 点検・保守

5.1 本体の清掃

点検・保守の周期：1か月（推奨）、適宜

清掃方法

 警告	 ・ 本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。ソニックバリア・ベータは防滴仕様ですが、直接水をかけないでください。 ・ 樹脂部には、水・洗剤・薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります。
注記	 ・ 本体表面をガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変形の原因となります。



製品の汚れは乾いた布、またはぬるま湯・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞って拭いてください。最後は乾燥した布で水分をふき取ってください。

6 こんなときは

本製品を運用中に下表に記載の現象が発生した場合は、原因と対策を参照の上、適切に対処してください。

下表に記載の対処を行っても解決しない場合や、下表に記載のない不具合が発生した場合は、運用を停止し、当社にご連絡ください。

注記	 輸送時の取り扱いの不備が考えられる場合（開梱時に梱包箱の外傷や本体の変形が見られた場合など）は、製品到着後1週間以内に輸送業者に連絡を取り、輸送状況を確認してください。輸送業者に瑕疵がない場合は、当社までご連絡ください。
-----------	---

ソニックバリア・ネオ

No.	現象	原因	対策
1	電源ランプが点灯しない	電源コードがコンセントに差し込まれていない	コンセントを確認し、電源プラグが正しく差し込まれていない場合は、差し直してください。
		電源コードが製品本体に正しく差し込まれていない	製品本体背面を確認し、電源コードが正しく差し込まれていない場合は、差し直してください。
		電源が供給されていない	コンセントまで電気が供給されているか確認してください。他の機器が使えるか、または元電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
		内部の不具合	上記の対策を行っても点灯しない場合は、内部の不具合が考えられますので、当社にご連絡ください。
		ヒューズが切れている	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。
2	異臭がする	電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。
3	電源ランプが点灯しているが、音が出ていない	周波数調整ツマミが、人間の聞こえない音（20 kHz以上）になっている。	一度、周波数を自動変調、または20 kHz以下に設定し、音が出ているかどうか確認してください。
		電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。

ソニックバリア・ベータ

No.	現象	原因	対策
1	電源ランプが点灯しない	電源コードがコンセントに差し込まれていない	コンセントを確認し、電源プラグが正しく差し込まれていない場合は、差し直してください。
		電源が供給されていない	コンセントまで電気が供給されているか確認してください。他の機器が使えるか、または元電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
		内部の不具合	上記の対策を行っても点灯しない場合は、内部の不具合が考えられますので、当社にご連絡ください。
		ヒューズが切れている	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。
2	異臭がする	電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。
3	電源ランプが点灯しているが、音が出ていない	電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。

7 製品の保管および廃棄

7.1 長期間使用しない場合の保管について

本製品を長期間使用しない場合は、以下の事項を守ってください。

- 以下の場所に保管してください。
 - － 直射日光が当たらない場所
 - － 強い磁界が発生しない場所
 - － 漏水の危険がない場所
 - － 振動が発生しない場所
 - － 平らな場所
 - － 近くに火気がなく、熱気のこもらない場所
 - － 火煙・ちり・ほこりの少ない場所

長期保管後に再使用する場合は、以下の点検を行ってください。

- ほこりの堆積やかびの発生などがないか確認してください。

7.2 本製品の廃棄について

本製品の廃棄処分は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。

環境保全のため、不法投棄は絶対にしないでください。

保証とアフターサービス

保証について

保証期間はお買い上げの日より1年間です。

保証は日本国内においてのみ有効です。

修理について

保証期間内に、取扱説明書・本体ラベルなどの注意に従った正常な使用状態で、故障が発生した場合には、無料修理させていただきます。

保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

- ・使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ・お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
- ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷
- ・消耗部品
- ・故障の原因が本製品以外に起因する場合
- ・その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷

補修用部品の保有期間

当社ではこの商品の補修用電気部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用電気部品には同機能を有する代替部品を含めます。

アフターサービスについてご不明な点は、当社にお問い合わせください。

保証書

この保証書は、本品のご契約日から1年の間に初期不良で故障が発生した場合に無料修理を行うことをお約束するものです。

品名：ソニックバリア シリーズ

保証期間：契約日から1年間

◆お客様ご住所

お客様	お名前
	ご住所
	電話番号 () —

◆取扱店記入欄

お買い上げ日：	年	月	日
<取扱店（お問い合わせ先）>			
店名・住所			
電話番号 () —			

※上欄に記入および捺印がない場合は、保証書内にご契約を証明する書類を貼り付けてください。

※ご記入いただきました個人情報、保証期間内における無料修理の対応および事後の安全点検などにご利用させていただくことがございますのでご了承ください。

改訂履歴

バージョン	改訂日	改訂内容
Ver.1.0	2020年11月20日	第1版

2020年11月20日 第1版 発行

製造販売元

商品開発部

イカリ消毒株式会社

〒275-0024

千葉県習志野市茜浜1-13-4

TEL. 047-451-5160

FAX. 047-451-0916

<https://www.ikari.co.jp>